

第2回 美瑛川地区かわまちづくりワーキンググループ 主な意見

日 時：平成28年3月4日(金) 13:30~15:30

場 所：美瑛町役場 2階会議室

参加者：ワーキングメンバー(尾形委員、船城委員、岩佐委員、みやけ委員、塚田委員、柿沼委員)
以上6名 ワーキング事務局(美瑛町、旭川開建)

主な意見

◆側帯盛土について

○側帯盛土A

- ・大規模な側帯盛土は、維持管理が大変。
- ・出入口の道道がカーブ箇所のため危険。駐車場として利用しない方が良い。
- ・自動車が間違えて入らないように車止めが必要。

○側帯盛土B

- ・A、Cの箇所と距離も近いので待避スペースとして幅を広げる程度で良い。

○側帯盛土C

- ・美沢地区の公衆トイレや周辺のカフェ等へのアクセスを考慮して、四阿、駐車場などの整備は必要。
- ・駐車場は、舗装までしなくても良い。

○全般

- ・側帯盛土可能箇所は、走行スペースを広げた方が良い。
- ・河川巡視車とのすれ違いのため、見通しの悪い箇所に待避スペース(側帯盛土)があった方が良い。
- ・子どもが自転車を練習できるスペースがほしい。
- ・サイクルスタンドは管理の課題があるため、冬期間も考慮した素材で設置した方が良い。

◆看板等について

○誘導看板

- ・美瑛町には複数のサイクリングロードがあり、美瑛川のサイクリングロードのみを考慮した誘導看板の設置とはならない。他のコースも含め案内をどうするか整理する必要がある。
- ・四季の橋は危険。四季の橋の手前からサイクリングコースに入るルート(ヘルシーマラソンのコース)が良いのでは。
- ・はじめての方は、美瑛川がどこにあるのかわからない。美瑛川の案内看板をつけるのも一案。
- ・駅前の区画整理完了後に看板のリニューアルを予定しており、美瑛川の案内を入れることは可能。

○案内看板・誘導ライン

- ・景観を考慮したシンプルなデザインがよい。英語表記付きであるとよい。
- ・案内看板を増やすより、誘導ラインの方が景観を壊さなくて良いのでは。
- ・誘導ラインは、長さ1.5mだと文字が小さく走行中の確認は困難。
- ・道道のトイレ位置などを示す案内表示は必要。
- ・スタート地点や休憩ポイントに全体の案内図や周辺の情報の看板があればよい。
- ・距離的な表示であれば、既存の美瑛川キロポストを利用するのも良い。

◆川へのアクセス道路について

- ・くねくねしていたら、自転車に乗っていて大変。
- ・長いアクセス道路は、維持管理が大変では。
- ・日の出橋、美聖橋のアクセス道路は、この長さは必要ない。それよりも待避所みたいに広くして、山を見るなどのポイントにした方がよい。
- ・全て舗装せず、オフロードのような遊べる道も作ってはどうか。
- ・木を伐採した後の川のイメージがつかないので雪解け後に再度現地を確認した方がよい。

◆サイクルステーションについて

- ・美瑛川のサイクリングロードだけではなく、美瑛町のサイクルスポーツ全体として観光協会などと協力し配置やシステムを考えて行く必要がある。

◆利活用の促進について

- ・美瑛町市街部から白金温泉まで荷物を運んでくれるシステムはできないか。
- ・自転車の持ち込みのできる宿も必要。センチュリーライドでは自転車の持ち込み可能な宿がある。
- ・サイクルスタンドを置いても利用する人は少ないのでは。
- ・スポーツタイプの自転車では、サイクルスタンドはあった方がよい。
- ・サイクルスタンドがあるだけで、サイクリストが歓迎されている感じがある。
- ・サイクルスタンドは、単管で組んだもので十分。
- ・景色の写真を撮る場所には、サイクルスタンドがあった方がよい。
- ・既存の公共施設などに工具をおくのもよい。
- ・工具は空気入れとパンク修理道具、六角レンチがあればよい。
- ・観光客だけでは非常にもったいないので、町民が利用できる仕掛けがあったらよい。
- ・比較的安全に走れるのが、堤防の特徴なので、町民の健康増進のためのコースで使ってもらえればよい。

以上